



平成19年度かごしまの知恵袋セミナー

本会では、県内各地で受け継がれている高齢者のさまざまな知恵を大切に受け継ぐため、1月23日、薩摩川内市国際交流センターで「平成19年度かごしまの知恵袋セミナー」を開催し、県内各地から約400人の参加がありました。

最初に、鹿児島女子短期大学の久永繁夫教授が「引き継ごう あなたの知恵袋」と題して記念講演を行いました。久永氏は、高齢者の生きがい・社会参加の行政施策や、知恵袋の継承方法について、わかりやすく話されました。

続いて、今年の10月25日から開催される「ねんりんピックかごしま2008」のPRや、奄美の島唄・島踊り健康づくりプログラムとして、健康体操の紹介がありました。

ねんりんピックのPRでは、マスコットの「さくらじまん」も登場し、会場は盛り上がりました。その後、久永繁夫教授によるコーディネートのもと、薩摩川内市おせより子どもへ伝言クラブ、屋久島町楠川寿大学、出水市老人クラブ出水総支部東出水第1支部・



2支部のみなさん6人による事例発表、パネルディスカッションが行われ、活発な意見交換がなされました。参加者からは「事例を聴いて元気をもらった」「自分達の活動の参考になった」などの感想がありました。

ヤング高齢者ボランティア養成講座・ニユースポーツ普及促進交流大会

「ヤング高齢者ボランティア養成講座」

県内では、高齢者の交流の場として604もの「ふれあい・いきいきサロン」があり活発に活動しています。このようなサロン活動には多くの住民の参加・協力が求められることから、サロンの運営に当たるボランティアの養成講座を11月下旬から12月中旬にかけて、大口市、南大隅町、日置市、徳之島の4か所で開催し、参加者は175人でした。内容は、健康・食事・自立支援、健康体操、レクリエーション、創作活動等多岐にわたり、参加者から好評を得ました。



「ニユースポーツ普及促進交流大会」

だれもが手軽に楽しめるニユースポーツの普及を促進し、高齢者の健康づくりと社会参加の促進に役立てるため、10月中旬に霧島地区（霧島市）と大島地区（奄美市）にてニユースポーツ普及促進交流大会を開催しました。霧島地区大会には197人、大島地区大会には180人の参加がありました。

競技種目は、今年開催される「ねんりんピック鹿児島2008」での競技種目であるグラウンド・ゴルフ、ペタンク、インディアアのほか、オーバルボールも含めた4種目を行いました。今後、このようなニユースポーツが県内各地に普及し、高齢者の健康・生きがいづくりや社会参加がますます進むことを期待しています。

